



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2016年3月期

第3四半期 WEB版

2015年4月1日～2015年12月31日



変革から成長へ。
新しい未来の夢が、
ひろがります。

株式会社スカパーJSATホールディングス



中期経営計画の達成に向け、 順調に進捗しています。

2016年2月
代表取締役社長

高田 真治

2016年3月期第3四半期

営業収益

1,234
億円

前期比
0.7%増

UP

営業利益

185
億円

前期比
5.5%増

UP

親会社株主に帰属する
四半期純利益

121
億円

前期比
6.2%減

DOWN

2016年3月期 第3四半期の業績概況

目標達成に向けて中長期の成長戦略を 着実に推進いたしました。

2016年3月期第3四半期は、有料多チャンネル事業では、引き続き加入件数・視聴料収入の拡大や日本コンテンツの海外展開の推進、宇宙・衛星事業では、企業・官公庁向けBCP(事業継続計画)ソリューションやグローバル・モバイルビジネス等に積極的に取り組みました。その結果、当第3四半期の営業収益は宇宙・衛星事業の売上増加により増収、営業利益は有料多チャンネル事業におけるコスト効率の向上により増益となり、通期見通しに対して概ね計画通りに進捗しています。

当四半期の取り組み

「スカパー！」ならではのコンテンツによる 加入者拡大と、海外向け日本コンテンツ チャンネルの展開に注力しました。

有料多チャンネル事業は、Jリーグ、ラグビーなどのスポーツや音楽ライブの生中継、「時代劇専門チャンネル」との共同制作によるオリジナル時代劇シリーズなどの独自コンテンツをラインアップし、競合メディアとの差別化を図るとともに、加入料0円キャンペーンなどによる加入者獲得に取り組みました。

海外向け日本コンテンツチャンネル「WAKUWAKU JAPAN」は、1月にはシンガポールの有料放送市場最大手「StarHubTV」で開局し、インドネシア、ミャンマーを含む3カ国10プラットフォームに進出し、視聴可能世帯数も350万世帯を超えました。3月にはタイの地上波デジタル放送「Ch3SD」で広告収入モデルによる放送(週末3時間)を開始します。また、日本各地のものづくりを紹介する番組「The Wonder Japan〜Takumi〜」では、グローバル対応ECサイトとの連携により、番組で紹介した商品を購入できる仕組みを構築するなど、視聴料収入以外の収益源の確立にも取り組んでいます。

国内BCP向けとグローバル・モバイルサービスを 強化し、衛星ソリューションニーズを 積極的に開拓しました。

宇宙・衛星事業においては、国内市場では昨年11月に一般財団法人自治体衛星通信機構向けの災害対策用ネットワーク管制局設備を販売するなど、引き続き災害・BCP対策として底堅い需要に対応しました。グローバル・モバイル市場では、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や航空機内ネット接続サービスを積極的に推進しました。航空機向けには、本年1月に、全日本空輸(株)の国内線向け機内Wi-Fiサービスへの衛星回線提供開始に伴い、同社が行う国内線初のライブテレビ視聴サービス「ANA SKY LIVE TV」に「スカパー！サービス」で人気の3チャンネルのコンテンツ提供も開始しました。

中長期の取り組み

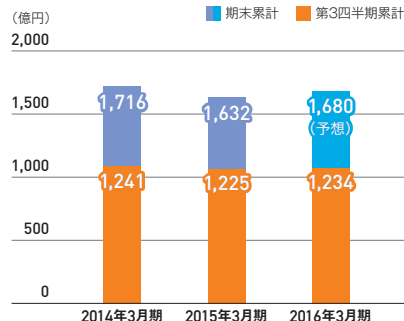
新たな視聴形態に対応し、 「スカパー！」の付加価値を高めるとともに、 衛星通信需要の開拓により 中長期の成長に向けた布石を打っています。

有料多チャンネル事業では、視聴形態の多様化に対応し、放送とインターネットの連携による新たなオンデマンドサービスを提供することで、お客様にとっての「スカパー！」の価値をさらに高め、新たな顧客層を開拓してまいります。また、2016年度に打ち上げ予定の通信衛星JCSAT-15(東経110度)は、新たに衛星基幹放送用に供される「左旋」(円偏波)周波数に対応した中継器を搭載しており、2018年以降に開始予定の超高精細度(4K・8K)実用放送に対応可能です。機動性や拡張性に優れた衛星多チャンネル放送の特長を最大限に活かして、新たなビジネスチャンスを広げます。宇宙・衛星事業においては、海外での衛星通信需要に対応すべく、米Intelsat社との通信衛星「Horizons 3e」の共同調達について既に公表しておりますが、このたび、国内需要に対応する通信衛星「JCSAT-17」の調達を決定いたしました。この衛星は2019年に打ち上げ予定であり、当社の中長期的成長を支える柱の一つとなります。国内外問わず、衛星通信需要の開拓とソリューションの提供に積極的に取り組んでまいります。

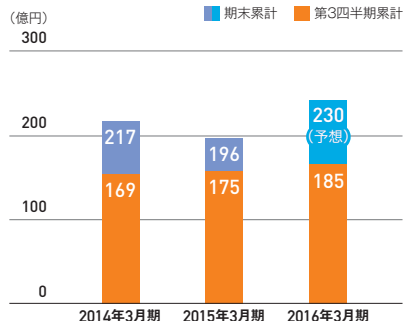
株主の皆様におかれましては、引き続き当社の成長にご期待いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務情報

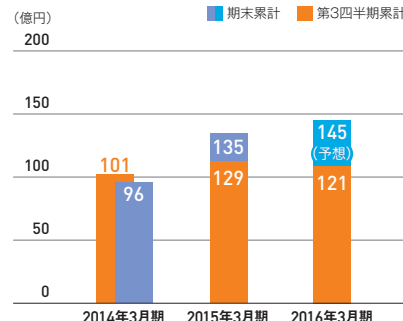
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



業績概況

当第3四半期の連結業績

前期比増収増益となる通期見通しに対し、引き続き順調に進捗しています。営業収益は前年同四半期比0.7%増の1,234億円、営業利益は同5.5%増の185億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の減少や法人税等の増加により同6.2%減の121億円となりました。

有料多チャンネル事業

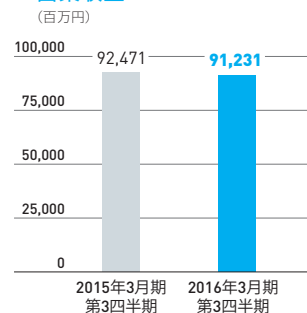
「スカパー！」累計加入件数の増加により同サービスの業務手数料収入が増加した一方で、「スカパー！プレミアムサービス」における標準画質サービス終了に伴う関連収入等の減少やハイビジョンサービス累計加入件数の減少による視聴料収入の減少により、営業収益は前年同四半期比1,239百万円減の91,231百万円となりました。利益面では、「BSスカパー！」や4K放送の充実のためのコンテンツ費用が増加する一方で、広告宣伝費等の減少により、営業利益は前年同四半期比657百万円増の5,167百万円となりました。

宇宙・衛星事業

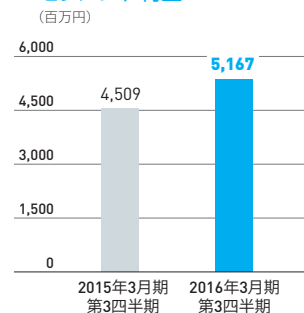
標準画質サービス終了により放送トランスポンダ収入が減少しましたが、船舶向けインターネットサービス収入の増加や災害対策用ネットワーク管制局設備の販売等が収益に貢献しました。その結果、営業収益は前年同四半期比1,951百万円増の41,411百万円、営業利益は前年同四半期比310百万円増の13,873百万円となりました。

有料多チャンネル事業

営業収益

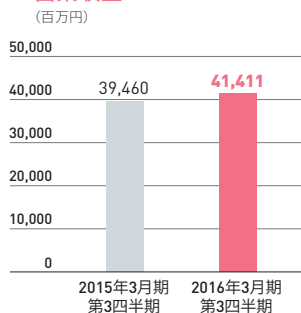


セグメント利益

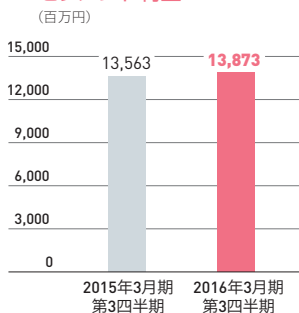


宇宙・衛星事業

営業収益



セグメント利益



KEY DATA

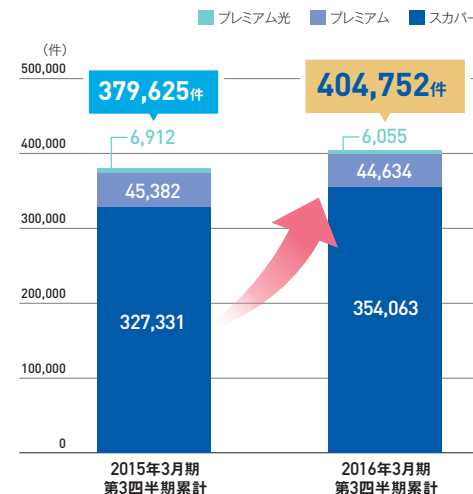
スカパー！3サービス 新規・再加入件数

404,752件

(2016年3月期第3四半期累計)

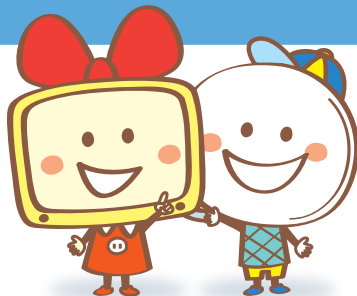
スカパー！3サービス合計の新規および再加入件数は、前年同四半期の379,625件から25,127件増加し、404,752件となりました。内訳は、新規加入件数が前年同四半期比16,395件増の321,336件、再加入件数が前年同四半期比8,732件増の83,416件となっております。

新規・再加入件数実績



第3四半期ニュースフラッシュ

2015年10月～12月



10月

October

19日 地域災害医療を担う病院・医療機関に最適な衛星通信システムの開発と運用に関する研究／検証を実施

20日 車載型映像制作システム「4Kista!」(フォーキスタ!)を導入し、4K中継・映像制作サービスを10月20日から開始

30日 欧州最強国を決める4年に1回のサッカーの祭典 UEFA EURO 2016予選 残り4枠の本戦出場を懸けたプレイオフ スカパー!で全試合生中継決定!

11月

November

4日 通信衛星JCSAT-3Aを経由し、Inter BEE (国際放送機器展)会場で4K HDR映像の伝送を実施

4日 世界最大手Intelsat社と通信衛星「Horizons 3e」の共同調達と共同衛星事業の展開に合意

27日 4年に1度・ドリカムの祭典『史上最強の移動遊園地DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2015』来春3月21日(月・祝)BSスカパー!で独占放送決定!

12月

December

14日 集え、不良高校生!吐き出せ、魂の叫び!『BSスカパー!BAZOOKA!!!第9回高校生RAP選手権』@大阪南港ATC HALL 4月2日(土)開催決定!!

15日 ～食・祭を中心に日本の魅力を定期的に発信する番組～『新・四季折々JAPAN FOOD&FESTIVAL』インドネシア・ミャンマー・シンガポールで2016年2月29日(月)から放送開始

23日 連続ドラマ『武道館』Juice=Juice初主演ドラマつくろ!プロデュース「NEXT YOU」がファンと共に感動のクランクアップ!

個人投資家向け会社説明会の様子

2015年12月10日(大阪府)と11日(愛知県)に個人投資家の皆様向けに会社説明会を行い、取締役の仁藤が当社グループの事業内容や今後の戦略についてご説明しました。悪天候の中、多数の投資家の方々にご来場いただき、たくさんのご質問をいただきました。



大阪府



愛知県

説明会当日の主なご質問

Q.1

動画配信サービスNetflixが日本に上陸したが対抗策は?

A 伸び悩む有料多チャンネル市場に刺激を与えと期待しています。スカパー!オンデマンドを強化し、スポーツ、コンサートなどのライブコンテンツで差別化を図ります。

Q.2

オンデマンドサービスの魅力は?

A 各種権利を調整し、放送と同じものを流すことを目指します。サッカー中継時に選手の数値情報を流すなど、オンデマンドならではのフレキシブルな見方を楽しんでいただき、他社にはないサービスを提供します。

Q.3

超小型衛星開発のアクセラスペースへ出資したが、今後の見通しは?

A 50センチメートル四方の超小型衛星を活用した地球観測網の構築に参画します。まずは2017年に3機を打ち上げ、農業やエネルギー、物流の分野で衛星の画像データを活用する計画です。

Q.4

東京五輪に向けて盛り上がっていくコンテンツは?

A 五輪は地上波で放送されますので、スカパー!はパラリンピックに力を入れていきます。また、昨年に開催されたワールドカップで日本代表が活躍し盛り上がったラグビーにも引き続き力を入れていきます。

近くで説明会があれば、出席してみよう!



ネットワークとITの活用による 新たな事業領域の拡大に 挑戦していきます。

株式会社衛星ネットワーク (SNET)
代表取締役社長 松本 崇良



略歴

宮城県生まれ。東京立大学(現首都大学東京)大学院修了。商社勤務を経て2002年、JSAT(株)(現スカパーJSAT(株))入社。衛星事業に長く携わり、2015年6月、(株)衛星ネットワーク代表取締役就任。休日にはキャンプや山登りを楽しむアウトドア派。

Q 昨年6月、社長に就任されましたが、この半年間の振り返りをお願いします。

当社の課題と新たな展望が見えてきた半年間でした。これまでの衛星および地上系ネットワークの提供に加えて、新たな事業領域を拡げ成長していくには、積極的に新しいビジネスを創出していける企業風土が求められます。その狙いから組織改革など体制づくりも視野に、社内で意見交換の機会を設けてボトムアップで進めてきました。SNETは、これからも全社一丸となって積極的に変革を推し進め、世の中の変化を敏感に察知し、ビジネスチャンスをかたちにするフロントランナーを目指します。

Q 今後の取り組みや目標について教えてください。

今後の主要施策の一つとして、国や自治体、農業分野への進出があります。UAV事業はその新たな取り組みツールの一つです。当社はいち早くドローンに着目し、パートナー企業と産業用無人機の開発に取り組んできました。災害現場の情報収集はもとより、環境調査、2020東京五輪をはじめとするセキュリティ業務、危険な高所でのインフラ

Q SNETの特徴は何ですか。

お客様のニーズに応じたきめ細かなサービスに対応できる柔軟性です。当社は衛星ソリューション、地上系ネットワーク構築、車載局によるイベント中継、映像制作からUAV(産業用無人機)^{※1}に至る幅広いサービスを提供しています。また都内、群馬の2カ所にあるオペレーションセンターでは、カスタマーサポート、監視・運用・保守、ハウジングなど、24時間365日対応でアウトソーシング業務を提供しています。

Q グループにおける位置づけと役割について伺います。

スカパーJSATが有料多チャンネルのプラットフォームと衛星インフラという土台部分を担っているのに対して、当社は、4K中継・映像制作サービス「4Kista!(フォーキスタ!)」^{※2}の展開など周辺領域のビジネスに取り組んでいます。またビッグデータ分析やロボット開発、UAVなど、これまでの事業領域にとらわれない先端技術のマーケットを切り拓くのも当社の役割と考えています。

保守点検など活用範囲が広がっています。

もう一つは小型衛星による地球観測サービス^{※3}です。広域災害時の状況や農業の生育管理、空港・港湾の監視などさまざまな需要が期待できます。こうした先端技術を活用した新たな事業を通じて「お客様の安心・安全」、「豊かな社会作り」に貢献してまいります。

NEW PROJECT 新たな取り組み

▶▶※1 活用広がるUAV(産業用無人機)

一般に知られるマルチコプター型のドローン機体をはじめ、固定翼(飛行機)、回転翼(ヘリコプター)、飛行船など、運用条件や利用環境に応じて最適な機体を選択いただくことができます。またカメラやガス検知器、温度センサーなどプラスアルファのデバイスを搭載しカスタマイズできるため、幅広いニーズに対応しています。



▶▶※2 4K/60P映像制作ニーズに対応した「4Kista!」

全国各地で4Kによる放送やパブリックビューイング、インターネット動画配信などの映像制作・中継・収録を実施できるサービス。大型中継車では対応の難しい場所でも運用可能な普通自動車クラスの仕様のため、機動性・運用性に優れています。



▶▶※3 超小型衛星観測網による「衛星画像提供サービス」

PLANET LABS社(米)の衛星画像は、100機以上の超小型衛星による全地球常時撮影で地球上の写真を1日に何枚も撮影できます。SNETでは画像解析を付加価値として提供し、これらの画像データは防災や農業、建設といった分野に需要が期待できます。従来の衛星画像データに比べ安価に提供できるのも特長です。



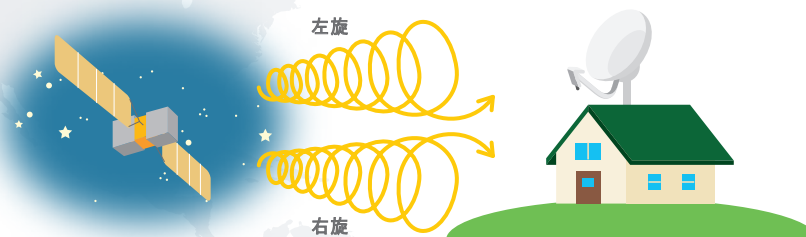
WAKUWAKU JAPANの日本コンテンツが4カ国で視聴可能に。 国内では4K、8Kの総務省ロードマップが当社放送サービスの追い風に。

● シンガポール新規開局、 タイ地上波デジタル放送にコンテンツ提供

海外向け日本コンテンツチャンネルWAKUWAKU JAPANの新たな展開先として、2016年1月、シンガポールのケーブルテレビ「StarHubTV」でチャンネルを開局、またタイの地上波デジタル放送「Ch3SD」においても3月からWAKUWAKU JAPANの一部コンテンツの放送を開始します。これによりWAKUWAKU JAPANによる日本コンテンツは、インドネシア、ミャンマー、シンガポールに続きタイの4カ国で視聴可能となります。シンガポールでは昨年からのIPTVサービスの「Singtel TV」でWAKUWAKU JAPANの放送を行っており、今回「StarHubTV」が開局した結果、シンガポールでは約50万世帯が視聴可能となりました。またタイは地上波デジタル放送開始に伴ってテレビチャンネルが一気に増大しています。「Ch3SD」に初の日本コンテンツの長期的な放送枠を確保することにより、日本ブームの拡大や、ピジットジャパン促進からのインバウンド効果が期待されます。また、タイの有料放送サービスにおいて将来のチャンネル化を視野に入れた準備を進めてまいります。

● 110度CS左旋における4K放送を睨み JCSAT-15を2016年度に打ち上げ

2015年7月23日に、総務省主催の4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合の第二次中間報告がありました。このロードマップによると、2017年に110度のCS左旋で4Kの試験放送が、その後の2018年に実用放送が開始される見込みです。そして、東京オリンピックが開催される2020年には放送の充実を狙って、4Kで利用できるトランスポンダが追加割当される予定です。当社は、この4K左旋放送に対応するため、左旋の中継器を搭載した通信衛星JCSAT-15を今年打ち上げ予定です。4K放送は、当社の衛星放送サービスにとって追い風になるだけでなく、新たなトランスポンダ需要の創出にもつながります。



右旋や左旋は、偏波と呼ばれる電波の進み方を表し、この図にありますように時計回りに進む電波を右旋、反時計回りに進む電波を左旋といいます。偏波を右旋・左旋と分けることで同じ周波数を2倍に増やして利用することができます。現在のBS放送や110度CS放送のスカパー！には右旋が使われていますが、左旋は放送用に利用されていません。左旋が新たに利用できるようになると、4Kのような新たなサービスでの活用が可能になります。

国内線初、リアルタイムでプレミアムサービスの
一部チャンネルが視聴可能に。

当社衛星による新たな航空機向けサービスが開始。

日本
国内線初

ANA SKY LIVE TVで見られる

スカパー！プレミアムサービス 3チャンネル

日テレジータス



日テレジータス

日本テレビがお届けする
スポーツ専門チャンネル。
巨人主催試合を
完全生中継！

提供：日本テレビ放送網株式会社

日テレNEWS24



日本テレビが
お届けするニュース
専門チャンネル。

提供：日本テレビ放送網株式会社

スカサカ！



スカサカ！

24時間
サッカー専門
チャンネル。

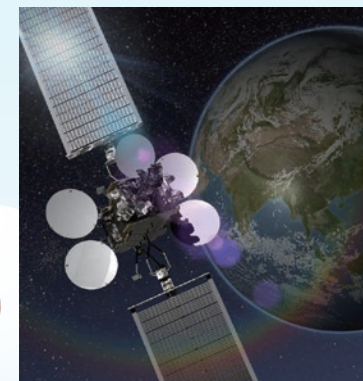
提供：当社



このロゴが機内入り口に表示されている機材[※]で利用可能です。(対象機材：B777、B787、B767、B737、A320)※2016年1月時点の対象機材は1機(B777-300型機)でのサービスであり、今後順次拡大予定。●Q400型機においてはビデオ番組、オーディオ番組、電子書籍サービスのみ提供となります。●B737-500型機およびB737-700型機は本サービスの対象外の機材となります。

JCSAT-17の調達決定、 2019年度打ち上げへ

スカパーJSATは、通信衛星JCSAT-17の調達契約を締結しました。調達先は米Lockheed Martin社で衛星バスは同社製のA2100型バスを採用し、2019年度の打ち上げを目指します。JCSAT-17は、Sバンド、CバンドおよびKuバンドの高性能トランスポンダを搭載し、主に国内のお客様向けに衛星通信サービスを提供してまいります。



A2100型衛星イメージ図

当社は、全日本空輸株式会社(以下ANA)が1月25日より開始した国内線「ANA Wi-Fiサービス」内のコンテンツとして、衛星多チャンネル放送サービス「スカパー！プレミアムサービス」で放送中の『日テレジータス』『日テレNEWS24』『スカサカ！24時間サッカー専門チャンネル』の3チャンネルの提供を開始しました。今回、ANAが国内線「ANA Wi-Fiサービス」内のコンテンツとして提供する「ANA SKY

LIVE TV」は、対応航空機の機内でWi-Fiを経由して、ご搭乗者自身がお持ちのスマートフォンやタブレット等からリアルタイムでテレビ番組を視聴できるサービスです。このサービスを利用することで、「スカパー！プレミアムサービス」で放送中の『日テレジータス』『日テレNEWS24』『スカサカ！24時間サッカー専門チャンネル』の3チャンネルを、航空機内でもリアルタイムで視聴することが可能になり、ご搭乗者

はニュースやスポーツ中継などをご自宅と同じように機内でもお楽しみいただけます。この「ANA Wi-Fiサービス」および「ANA SKY LIVE TV」は、当社が保有する通信衛星を利用し、Panasonic Avionics Corporationによる航空機内インターネット接続サービス「eXConnect」および航空機内衛星テレビサービス「eXTV」を介して提供されます。

各ジャンルのおすすめ!!

下の各ジャンルのアイコンをクリック  すると番組紹介ページをご覧ください。



映画

Movie



スポーツ

Sports



音楽

Music



アニメ

Animation



ドラマ

Drama



エンター
テインメント

Entertainment



ドキュメンタリー
・ニュース

Documentary/
News



趣味・娯楽・外国語

Hobby/Culture/
Foreign language

4K対応ベーシックチューナー

レンタル料 **36ヶ月** **割引**
キャンペーン

キャンペーン期間中にスカパー!プレミアムサービス/光の受信機レンタルサービスで、
4K対応ベーシックチューナーを新規で契約または、機種変更すると、
翌月よりレンタル料が割引に!

通常レンタル料

990円/月(税込)

キャンペーン
価格

648円/月(税込)

2016年
3月31日(木)
お申し込み
完了分まで

※2016年4月15日(金)までにご契約手続きを完了いただける個人のお客様が対象となります(法人・業務用は対象外)。※途中解約、途中買取後の本キャンペーン特典は失効します。※割引期間終了後は通常のレンタル料金990円/月(税込)のお支払いとなります。

以下の商品は、スカパー!ダイレクト限定の商品です。

4K対応ベーシックチューナー



スカパー!プレミアムサービス/プレミアムサービス光対応チューナー

ソニー製 FMP-X7A

レンタル料:990円/月(税込)

販売価格:39,800円(税込)

詳しくは

プレミアムサービス スカパー!ダイレクト ▶ <http://sptvhd.jp/direct/>

プレミアムサービス光 公式サイト ▶ <http://www.skyperfectv.co.jp/>

※次世代放送推進フォーラム(NexTV-F)が放送する4K専門チャンネル(試験放送)「Channel 4K(Ch.502)」が視聴できます。「Channel 4K」視聴のためにスカパー!プレミアムサービスに加入する必要はございません。詳しくは「Channel 4K」公式サイト(<http://channel4k.jp>)をご確認ください。※4K PPV・PPD番組をご視聴いただくには、受信機にインターネット回線を接続し、常に最新のソフトウェアに更新いただく必要があります。※上記掲載機器では、デジタルラジオ放送(「スターラジオ(100ch 音楽ラジオ)」)はご視聴いただけません。

4Kの魅力、番組、視聴方法
などについてはこちらへ

スカパー!

4K



SKY Perfect JSAT Holdings Inc.

www.skyperfectjsat.co.jp

